

株式会社フジ技研カゴシマ

平成 25 年度 補正予算事業

自動車用検査治具の高精度化と多能工化により 短納期に対応する

近年、自動車の開発期間の短縮や部品の一体化に伴い、自動車用検査治具は短納期対応と高精度化が求められている。11分野の精密加工技術により、新たな設備を導入し、多能工化を図り、短納期と高精度化に対応していく。



プラズマ加工機

事業のきっかけと目的

Motivation

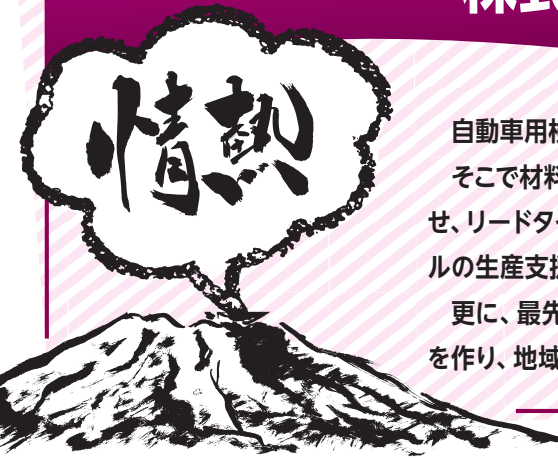
自動車部品のうち、金型等でつくられた成型部品は、品質管理上、検査治具を用いて寸法管理を行うが、製品開発サイクルの短縮化、グローバル化、ニーズの細分化・多様化が顕著になってきており、検査治具に対する要求も厳しく、かつ高度化している。そのため、自動車検査治具の高精度化・多能工化を図り、市場での差別的優位性を実現する。

事業の取り組み内容と成果

Progress

プラズマ加工機を導入して検査治具を製作し、精度評価を行った。ワイヤー加工機との加工時間を比較した結果、素材1個あたりのトータル生産時間として大幅な時間削減が実現できた。生産コストにおいても、大幅なコスト削減を実現している。今後もさらに生産性を向上させるため、多能工化を進めていく。

株式会社フジ技研カゴシマの思い



自動車用検査治具製作において短納期化とコスト削減が求められています。そこで材料生産工程を内製化することにより、検査治具部品加工の生産性を向上させ、リードタイム短縮とコスト削減を達成することを目的とし、自動車業界トップレベルの生産支援会社を目指します。

更に、最先端設備の導入でこれからの若い人材がモノづくりに取り組みやすい環境を作り、地域の若い人材の働く場所の提供にも寄与していきたいと考えています。



データ呼出し作業



加工状況確認作業



プラズマ加工中

事業化に向けての今後の取り組み

Future

プラズマ加工機の導入により切断作業が早くなり、今まで購入していた購入品も社内で加工する事が可能になった。更に社内加工率を上げ、生産性を向上させていきたい。



企業の生い立ち

三重県にある、自動車試作会社(株)フジ技研の100%子会社として創業。現在は事業を分業化し、自動車部品用の検具や治具を中心とした設計製作を行っている。

現在、三重県、タイ、インドネシアとグループ合わせて従業員250名程の社員が切磋琢磨しながらモノづくりを行っている。



工場全体

事業者	株式会社フジ技研カゴシマ
代表者	佐藤 滋
設立年月日	平成10年8月26日
所在地等	〒899-8606 鹿児島県鹿児島市末吉町深川11111-6 TEL 0986-28-0505 FAX 0986-28-0506 E-mail info@fujigiken.jp URL http://www.fujigiken.jp
事業の種類	ものづくり技術
資本金額	3,000万円
従業員数	47名
業種	自動車部品用治具製造業